

土

高知県

佐

土佐市

市

市制50周年記念市勢要覧 2008
Tosa City 50th Anniversary Commemorative Handbook



高知県土佐市

〒781-1192 高知県土佐市高岡町甲 2017-1
Tel.088-852-1111(代表) Fax.088-852-5290(代表)
<http://www.city.tosa.lg.jp/>

土佐市概要	2
-------	---

 巻頭 カレイドスコープ [万華鏡] 土佐市	3
-------------------------------------	---

 特集 土佐市年代記	9
-------------------------	---

50周年記念特集◎市民が語る、写真でたどる歴史と市制50年

古代から現代へ[土佐市誕生直前まで]／礎の時代	10
昭和34年～昭和43年／芽生えの時代	12
昭和44年～昭和53年／胎動の時代	14
昭和54年～昭和63年／成長の時代	16
昭和64年・平成元年～平成10年／躍進の時代	18
平成11年～平成20年／充実の時代	20

◎コラム 1 わがまちゆかりの賢人、偉人たち。	22
-----------------------------	----

中島信行・中濱万次郎・野中兼山・西原清東

 市勢要覧 土佐市のいま 人が主役、テーマは笑顔のまちづくり	23
--	----

【産業】黒潮と自然の恵みを活かして	24
【自然】山、川、海、空が広がるニッポンの風景	26
【文化】時代とともに、人とともに磨かれた伝統	28
【暮らし】すこやかに、のびやかに、暮らしをまね	30
土佐市マップ	32

友好都市・姉妹都市 交流を通じて深まる絆	34
----------------------	----

北海道◎江別市 ブラジル・サンパウロ州◎イタチーバ市

◎コラム 2 わがまち自慢の伝統工芸と特産品	36
----------------------------	----

土佐和紙・竹細工・鯉節・ウツボのたたき・土佐文旦

 施策概要 笑顔の向こうの明るい未来へ	37
----------------------------------	----

【調和のとれたまち】安心を生み出す環境都市づくり	38
【活力のあるまち】地域資源と魅力の創出	39
【生きがいのあるまち】文化・伝統が育む人づくり	40
【安らぎのあるまち】支え合い、助け合う地域	41
【幸せなまち】市民が主役の市政実現	42

◎コラム 3 わがまちならではの見どころ・体験	43
-----------------------------	----

横浪黒潮ライン・ホエール&イルカウォッチング・パラグライダー・清瀧寺・青龍寺・大刺まつりなど

土佐市歳事記(イベントカレンダー)	44
-------------------	----

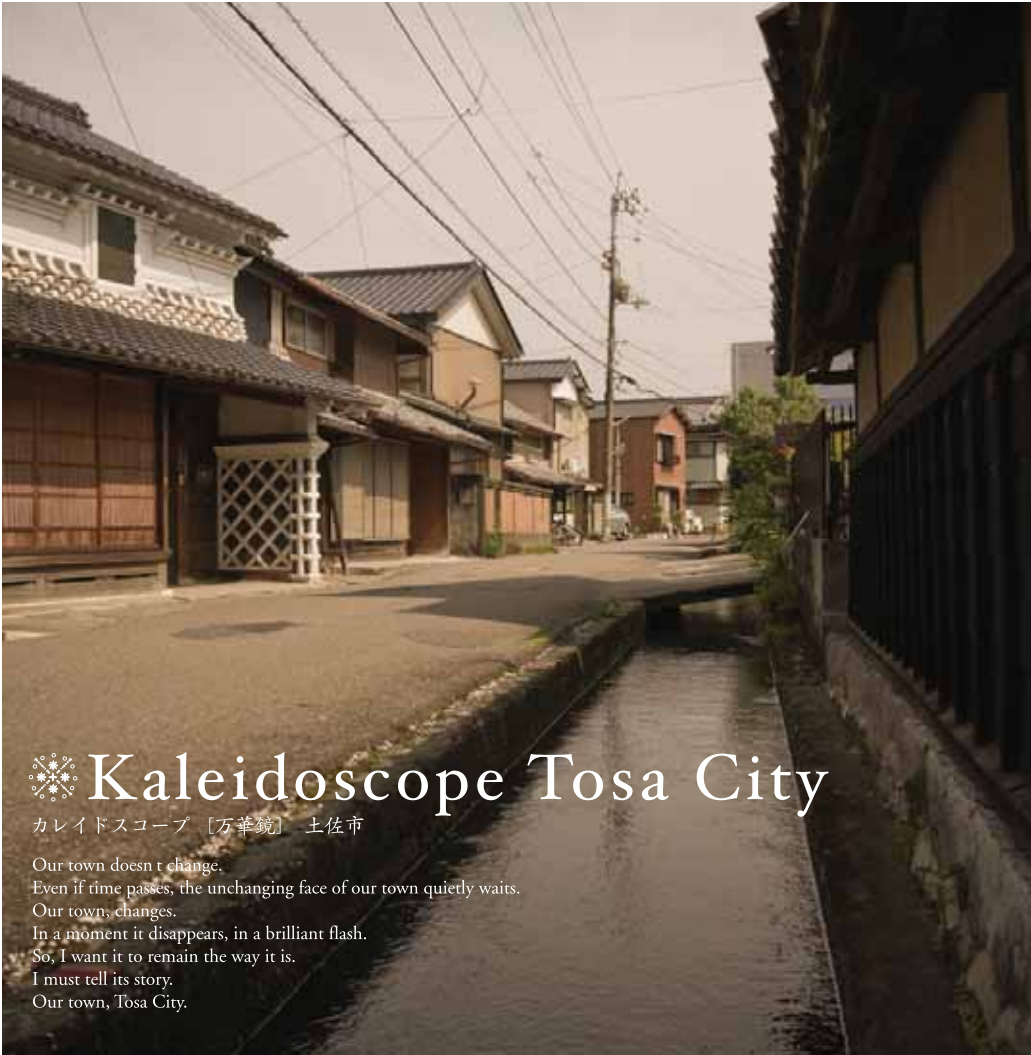
DATA 2008土佐市	45
--------------	----

発刊に寄せて[市長あいさつ]	48
----------------	----

土佐市長 板原啓文



竜の国土佐市
 竜にゆかりのわがまち、土佐市。
 その昔、
 中国の寺で修行中の弘法大師が投げた法具が
 まちの山上まで飛んできたという伝承が残る。
 後に大師は、この地に寺を建立。
 中国の寺にちなみ、青龍寺と名づけられた。
 奇しくも、空からまちを見下ろすと
 そこには、竜の横顔が浮かび上がる。
 青い竜をシンボルにかかげる土佐市は、
 2009年に市制施行から
 50年を迎えます。



Kaleidoscope Tosa City

カレイドスコープ「万華鏡」土佐市

Our town doesn't change.
Even if time passes, the unchanging face of our town quietly waits.
Our town, changes.
In a moment it disappears, in a brilliant flash.
So, I want it to remain the way it is.
I must tell its story.
Our town, Tosa City.

まちは変わらない。
時を経てもなお、変わらずに待っていてくれるふるさとの姿。
まちは変わる。
一瞬に消え去ってしまう、鮮やかなきらめきとともに。
だから、とどめたい。
どうしても、伝えたい。
わたしたちのまち、土佐市。

At 133°25' longitude and 33°29' latitude, Tosa City is located roughly in the center of Kochi Prefecture. The city area spans 16 kilometers east to west, 12 kilometers north to south, and has a total area of 91.59 square kilometers. The eastern part of Tosa City spreads along the bank of the lower Niyodo River, which originates in the Ishizuchi Mountains. The northern part lies in the Irazu Mountains, the western part is encircled by the Kokuzo Mountains, and to the south is the Pacific Ocean. Plains, mountains, rivers, and ocean all contribute to a diversity of geographical features, and it is the fertile soils of the plains that, in combination with a temperate climate, allowed for the development of modern agriculture in Tosa City. A bountiful natural environment also resulted in the development of diverse industries such as paper manufacturing (utilizing plentiful water resources from the Niyodo River), and fishing (benefiting from fish carried by the Kuroshio, or Black Current). In the southern part of Tosa City, breathtaking views from the Yokonami peninsula and beautiful scenery of the quiet inner sea of Yokonami Sanri have greatly benefited the sightseeing and leisure industry.



高知県土佐市

高知県のほぼ中央、東経133°25′、北緯33°29′に位置する土佐市。市域は東西約16km、南北約12kmで、面積は91.59km²です。市の東部は石鎚山系を源流とする仁淀川下流の右岸に広がり、北部は不入山脈、西部は虚空蔵山に囲まれ、南部は太平洋に面しています。平野、山、川、海と変化に富んだ地形で、平野部では肥沃な地味と温暖な気候が多角的近代農業の普及をもたらしました。その他、仁淀川の豊かな水を活用した製紙工業や、黒潮が運んでくる漁業資源を活かした沿岸漁業や水産加工業など、豊かな自然環境によって多彩な産業が展開してきました。また南部では、雄大な景色が楽しめるリアス式海岸の横浪半島や、波静かな内海の横浪三里へと続く美しい景観などが、観光・レジャー産業の発展につながっています。



市章

昭和34年6月1日に制定。土佐市の「と」の字を図案化したもので、2つのつばさは未来への飛躍を、円は和と協調を、さらに円の切れ目は宇佐港の海の幸を、円の周囲は豊かな野をあらわしています。土佐市の限りなき躍進と発展を象徴する市章です。



シンボルマーク ブルードラゴン

「宇宙から見た土佐市」の姿を現したシンボルマーク。空から見た土佐市全域が竜になぞられることから、竜の横顔をモチーフとしています。「竜」の名の付く横浪半島の竜地区や竜の浜、青龍寺など、竜に縁の深い土佐市にふさわしいシンボルマークです。



市花 ユリ

土佐市が、全国でも有数のユリの産地であることから市花に定められました。特にカサブランカなどのオリエンタル系ユリの生産が盛んで、市内では40名以上の生産者が、ユリの栽培に取り組んでいます。



市木 イチョウ

市の天然記念物である「京間の大イチョウ」にちなんで定めた市木。1本の木が堤防の埋め立てによって半ば地中に没し、大小多数の枝や幹が密生しています。ユニークな樹形とさわやかな緑、秋の紅葉の美しさなどが多くの市民に愛されています。

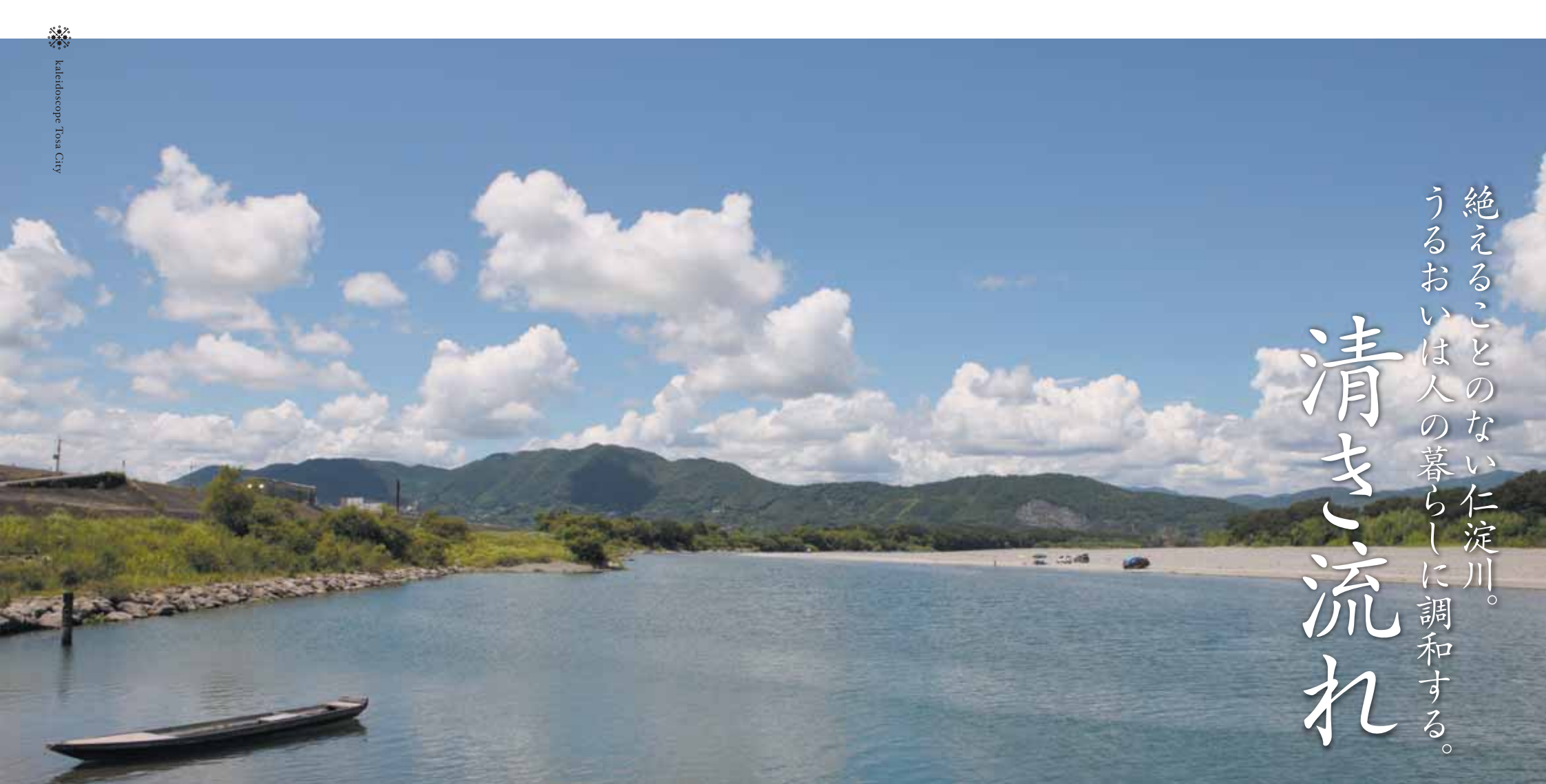


市鳥 ムクドリ

空を群れなして飛ぶムクドリの姿。市街地の夕方の風景です。春から夏の繁殖期を経て、やがて群れをなし、冬の空を覆う様子は、まさに繁栄の象徴。人の暮らしに近く、市民に親しまれる馴染み深い野鳥です。

土佐市へのアクセス

- 飛行機で | 大阪～高知／45分、東京～高知／1時間20分→高知龍馬空港から車で高知自動車道[南国IC]→[土佐IC]／約50分
- JRで | 岡山～高知／2時間30分→高知駅から車で高知自動車道[高知IC]→[土佐IC]／約30分、路線バス／約45分
- バスで | 岡山～高知／2時間30分、大阪～高知／5時間30分→高知駅から車で高知自動車道[高知IC]→[土佐IC]／約30分、路線バス／約45分
- 車で | 高知自動車道[土佐IC]下車



絶えることの無い仁淀川。
うるおいは人の暮らしに調和する。
清き流れ

Over many years, the Niyodo River brought life to our people.

In spring, warm rays of sunshine dance on the river's surface. In summer, one can hear the echoing laughter of children. In autumn, pilgrims from the 88-temple pilgrimage stop to soak their tired feet. In winter, under the water's surface, the Niyodo quietly nurtures life that is to come.

Flowing from the heart of the Shikoku Mountains into the Pacific Ocean, the Niyodo River provides us with both the bounty and the harsh realities of nature.



仁淀川の清らかな水は、土佐市の東側をゆったりと流れ、
やがて新居海岸から太平洋へと注ぎ込まれます。
時に暴れることがあろうとも、この流れがもたらす恩恵は計り知れません。



いつも、私たちとともにあつた仁淀川。
寄り添うように優しく、ある時は、その偉大さを見せつけるがごとく牙をむいて。いつからか、そしていつまでも、日々の営みの中に清らかな流れを運んできました。
春、うららかな日差しに水面が輝きます。夏、川原に響くのは水遊びに興じる子どもたちの歓声。秋、時にはお遍路さんが冷たい流れに足の疲れを癒します。そして冬、北風の渡る川面の下で、来る春を思いながら静かに命をばぐくみます。
急峻な四国山地から流れ出て、清らかに豊かに成長し、太平洋へと流れ込む仁淀川。時が流れ、時代が変わろうとも、大いなる恵みと自然の厳しさをもたらし、変わらない姿で私たちの暮らしを見つめ続けています。



鯉節生産

「改良土佐節発祥の地」といわれ、江戸時代には幕府献上品も生産していた宇佐。伝統の製法を活かし、今日でも、県内有数のカツオの生節生産量を誇ります。



土佐和紙

主要産業のひとつとして発展した製紙業。近代化が進む一方、昔ながらの手漉きによる和紙づくりも行われています。



宇佐港まつり

華やかな大漁旗を掲げた漁船が湾内を一巡する漁船パレードや櫓漕ぎ競争など、海を舞台にしたさまざまな催しのほか、色とりどりの尺玉花火が真夏の夜を彩る花火大会も開催され、多くの人で賑わいます。



高岡日曜市

毎週日曜日の早朝から開かれる高岡日曜市。地元で採れた新鮮な野菜や果物、魚介類が並びます。売り子となった生産者の呼び声も元氣一杯。土佐市民の台所市として、食文化を支えています。

いつの時代も、土佐市の主役は「ひと」。このまちに暮らす人たちの笑顔が、地域を明るく照らしてきました。そして、仕事にかける情熱や伝統を守るための真摯な思いが、まちに活力を与えます。

力自慢が、その血を熱くたぎらせる「大綱まつり」。江戸時代から行われ、一時途絶えたこの祭りは、地元青年たちの熱心な取り組みによって復活しました。いまでは高知県を代表する勇壮な祭りに成長し、土佐市の夏の夜を熱気で包みます。

一方で、昔ながらの技と伝統をしつかりと守り伝えることの大切さを、自らの姿をもつて教えてくれる人たちがいます。あるいは、未来のまちで活躍するためにまっすぐに、食欲に知識を吸収する子どもたちがいます。頑張る人たちをしつかりとサポートする、縁の下の方持ちがいます。

そんなみんなが主役の土佐市です。

While nature gives us life itself, "people" have always played the central role in Tosa City. The smiles of the citizens of Tosa City lighten up local communities, bringing vibrancy and energy to our town.

With its beginnings in the Edo period, the Ōtsuna Festival had at one point ceased to be celebrated, but thanks to the efforts of local youth, it was brought back to life. Now it represents Kochi Prefecture as an amazingly energetic festival. There were many people responsible for bringing back this festival. There were those who protected and retold the tradition. There were children who made a serious effort to learn the tradition for the future. And there were strong supporters of those who were making these efforts to tell and learn the traditions.

It is these people who play a central role in Tosa City.



大鍋まつり

毎年5月初旬に行われる大鍋まつり。目玉は四国最大直径2メートルの大鍋で作るアサリ汁。完成する頃には長蛇の列ができる人気のお祭りです。



大綱まつり

江戸初期、鎌田井筋の建設に携わった労働者たちの士気を高めるため、始まったと伝えられる大綱引き。昭和53年に「大綱まつり」として復活しました。夏の夜、まち全体が熱気に包まれます。

熱い思い



kalidoscope Tosa City

黒潮の海

空はどこまでも青く、海はどこまでも蒼く。
潮風に包まれるよろこびを感じる。

私たちの海は、一言では語りきれません。
土佐湾に面し、どこまでも続く水平線。
横浪半島の切り立った断崖のはるか下で、
ダイナミックに打ち寄せる白い波。「雄大」
という言葉が、これほどふさわしい景色はあ
りません。

一方、横浪半島を結ぶ宇佐大橋周辺の
海は、時に穏やかで繊細な表情を見せます。
春は、砂浜で貝掘りを楽しむ家族連れの
ほほえましい姿が風物詩。さざ波が平らか
な水面に広がる様は、一幅の絵を見るか
のようです。

私たちの海は、潮風とともに豊かな恵みも
もたらします。カツオ、マグロ、ウルメイワシ、
アサリ……、四季を通じて獲れる新鮮な魚介
類。沿岸のまちでは、鯉節やウルメ干しなど
の加工が盛んに行われてきました。どれもニッ
ポンの食卓に欠かせない海の幸です。

明るく、おおらかな土佐の海。この恵み豊
かな海とともに生きる幸が、永久に続い
てゆくこと。そんな未来が、青く晴れた空と
蒼く澄んだ海の間、こうに広がっているこ
とを願って止みません。



土佐湾に回遊してくるニタリクジラ。10メー
トル以上の体長で悠然と泳ぐ姿は、太平洋の主
にふさわしい風格です。

It is difficult to find a single word that might serve to describe our ocean.

While the word "bold" or "magnificent" might come to mind when one beholds the dynamic white waves of the Pacific Ocean, we must not forget the quiet delicacy of the view that expands from the gentle waves of the inner sea of the Yonami Peninsula.

Along with the sea breeze, our ocean blesses us with plentiful gifts. Bonito, tuna, sardine, clam ... throughout the seasons many varieties of fresh fish come to our table. Over the years, bonito flake and dried fish processing have taken place in our coastal towns.

Bright, magnanimous ocean of Tosa. May the joy we experience from living in harmony with this bountiful sea be felt by generations to come.

土佐市年代記

50周年記念特集◎市民が語る、写真でたどる歴史と市制50年

昭和34年、わがまち土佐市は誕生しました。
以来50年。

この地に住まう人々の
喜びや悲しみに彩られながら、
その歩みを続けてきました。

いま、明日への一歩を大きく踏み出すために、
わがまちの歴史を振り返ります。
目指すのは、次の50年。



真っ暗闇の中、音もなく津波が押し寄せました。



南海地震の語り部として
小学校で講演

松岡進一さん[81歳]

マツオカ シンイチ

南海地震が起こったとき、私は19歳でした。立つこともできない激しい揺れだったことを覚えています。
揺れが収まり、宇佐町の様子を見に行った時には、すでに一番潮津波の第一波に襲われた後でした。逃げ遅れた子連れの家族とともに山に避難し、5分もせずに二番潮が襲来。でも、真っ暗闇の中で何の音もしません。ただ、沖にあったはずの釣り船の明かりがぐんぐんと近づいてくるの

が見えるだけでした。そして、再び船が海へと戻ろうとしたその時、潮が引くとともにバキバキバキッと家々をなぎ倒す音が響き渡り、それを聞いた避難していた人たちの間からは悲鳴やうめき声が上がっていました。
こんな私の体験や他の人から聞いた話を、市内の小学校で講演しています。私の体験が、次の南海地震の備えに少しでも役立ってくれば、と思います。

土佐市の動き

元号	西暦	主なできごと
縄文後期	前4000	野田に縄文人住みつく
弥生前期	前1世紀	野田で米作り開始
奈良時代	8世紀	「高岡郷」など吾川郡に所属 条里制の施行
平安時代	841	吾川郡より「高岡郡」分置
平安時代	10世紀	高岡郡・高岡・海部・吾川・三井の四郷からなる 野田遺跡再び栄える
慶長5年	1600	山内康豊、用石村喜兵衛、戸波郷宮地五良左衛門に帰順を命ずる
承応3年	1654	鎌田井筋、工事開始
宝永4年	1707	宝永地震、津波で宇佐浦などに大被害
文政2年	1819	宇佐浦で鯉節製造技術が向上
天保9年	1838	高岡、大内、日下諸村で紙漉き盛んに
明治3年	1870	庄屋役廃止、郷正設置
明治22年	1889	町村制発足、高岡村他7ヵ村に
明治36年	1903	宇佐漁業組合結成
大正7年	1918	高岡町に町是制定
昭和4年	1929	仁淀川大橋架設
昭和21年	1946	南海大地震により、宇佐町などに甚大な被害



改良土佐節発祥の碑



高岡町時戸村近の商店街
(大正5年)



高岡町役場



スイカ出荷風景
(昭和20年ごろ)

古代から現代へ[土佐市誕生直前まで]

江戸後期、礎となる産業が発展



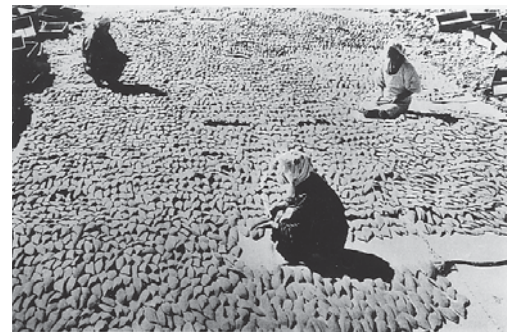
南海大地震(昭和21年)

土佐市域では、縄文時代後期から人の暮らしが営まれ、弥生時代には集落が形成されるようになりました。中世には蓮池氏、大平氏などの有力豪族が支配し、山内氏の土佐入国後はその勢力範囲内に入ります。荒地だった平野部が姿を大きく変えるのは、藩政時代前期のこと。土佐藩奉行職、野中兼山が指揮する用水路建設による水田開発により、豊かな田園地帯へと変わっていきます。
藩政時代後期には鯉節製造が盛んになり、「土佐節」の名で全国的に知られるようになりました。同時期、土佐和紙の手漉き技術も進歩し、伊野と並ぶ大産地に発展。明治から昭和前期にかけて、土佐市域ならではの産業としてさらに発展していきます。

Era of Developmental Foundations

People have been living in the Tosa City area from the latter Jomon period, and began living together in villages since the Yayoi period. In the middle ages, powerful clans ruled, and Tosa became part of Lord Yamauchi's domain from the time he entered and claimed the region.

In the latter part of the Hansei period, bonito flake production became prominent, and advances were made in Tosa-washi paper technology. From the Meiji era until the beginning of the Showa era, Tosa City industries developed even further.



鯉節生産風景(昭和20年ごろ)

宇佐の海は魚の豊富な、美しい海でした。



ウルメ漁の一本釣りで
宇佐の漁師として50年

上野 力さん[81歳]
ウエノ ツトム

私がウルメ漁の一本釣りを始めたのは昭和36年頃。借金をして船を買い、一人で海に出始めました。夜中の3時30分頃に出航し、土佐湾近海の漁場に着的いたら100本の針をつけた糸を垂らして、ウルメがかかるのを待ちます。

あの頃の宇佐の海は、本当に魚が良く獲れました。漁場にはんの1時間もいれば、1日に制限された漁獲高のウルメが釣れたこともありま。水揚げされたウルメは

宇佐で干物にし、特産品として有名になりました。

漁場は土佐湾内ですから、少々、荒れた海でも出漁しました。漁に出れば魚が獲れる。収入も、当時は会社員に負けていません。いい時代でした。

今でも漁には出ています。しかし、めつきり魚が獲れなくなりました。水も汚れて、変わってしまいました。昔のような美しい海に、一日も早く戻ってほしいものです。

土佐市の動き

元号	西暦	主なできごと
昭和34年	1959	市制施行、土佐市誕生 高岡町商店街の軒切り舗装工事完了
昭和35年	1960	市庁舎落成 土佐市商工会発足 仁淀川分水補償問題解決 機械漣き製紙ようやく盛んに 高岡農協再建、土佐市高岡農協として新たに出発
昭和36年	1961	ウルメ一本釣り漁法を橋村政次郎考案 高岡製紙工業協同組合結成
昭和37年	1962	安全都市宣言 統合高岡中学校校舎落成 老人クラブ誕生 波介川橋でバス転落事故
昭和38年	1963	台風9号で天崎堤防決壊寸前の大洪水に 第1回市文化祭開催 イ草加工組合結成 土佐新館包装完備、需要増加 土佐市社会福祉協議会財団法人化
昭和39年	1964	高岡高校宇佐分校全焼 新居小学校台風20号により全壊
昭和40年	1965	新居堤外土地改良事業完成 仁淀川大橋開通 仁淀川国の直轄管理に 新居海岸3回の台風で海岸堤決壊 国道56号須崎まで全面舗装
昭和41年	1966	仁淀川一級河川に 塩見文庫高知市に開設 土佐市消防署開署
昭和42年	1967	鎌田井筋改良工事完成 組合し尿処理場高岡町に建設
昭和43年	1968	北原小学校で火災発生 県第一みかん共選場落成 市制施行10周年祝賀式典開催



昭和39年に全壊する前の新居小学校



台風9号での避難の様子(昭和38年)



土佐市消防署開署(昭和41年)



市制施行10周年祝賀パレード(昭和43年)

昭和34年(1959)～昭和43年(1968)

自然の恵みあふれる新市誕生!

古代から連綿と歴史を刻み続けてきた土佐市域では、昭和29年、高岡・連池・高石・波介・北原・戸波の6ヵ町村が合併して高岡町になりました。さらに昭和33年4月、現在の宇佐地区と新居地区が合併し、その後昭和34年1月に仁淀川沿いの平野部から丘陵部、海岸線にまで広がる、自然豊かな「土佐市」がついに誕生します。時代は高度経済成長期の真只中、日本の急速な発展と歩調を合わせて、土佐市の基盤整備や産業育成も進んでいきます。

漁業では従来の近海のみならず、遠洋にまで足を延ばすようになり、豊富な水揚げを背景に、鯉節(改良土佐節)製造業が一層の興隆をみせるようになります。農業も新たな展開に入り、温暖な気候と肥沃な土壌を利用して、施設園芸が盛んになっていきました。波介川沿いの湿地では、米に替わってイ草栽培が広く行われ、県内一の大生産地に成長します。甘藷などの段々畑だった丘陵地も整備され、柑橘類の本格的な栽培へと向かいました。市を代表する基幹産業のひとつ、土佐和紙は、安定した合理的な生産を図るため、手漉きとともに機械漣きが時代と共に盛んになっていきました。

ウルメ干物の生産



イ草の生産(波介川流域)



仁淀川大橋開通 渡り初めの様子(昭和40年)



機械漣き製紙工場(高岡町西川久保)

芽生えの時代

Era of Early Growth

In April of 1958, the townships of Usa and Nii merged, and finally in January of 1959, Tosa City was born, stretching from the open plains along the Niyodo River to the hilly regions, and also to the coast.

In the midst of times of economic growth for Japan, Tosa City's infrastructure and industry took large steps forward. In the fishing industry, operations began to take place in distant oceans, and bonito flake processing was in high production. In agriculture, the use of greenhouses became commonplace. In the temperate river-side areas of Hage, Igusa (rush, used in tatami-making) production began to widely replace rice production, and in hilly regions citrus fruit production became prominent. For one of Tosa City's main industries, Tosa-washi (traditional Tosa-style papermaking), in order to ensure stable and efficient production, both handmade paper production and machine-made paper production became prominent over the years.

地域の誇りになればと、
祭りを復活させました。土佐市商工会青年部部長として
大綱まつりの再開に尽力

森澤英世さん[63歳]

モリササ ヒデヨ

「商店街が元気になるようなことができないか」。そんな投げ掛けが青年部にあったことがきっかけです。単なるイベントではなく、住民の皆さんの誇りとなるような何かをできないかと考え、浮かび上がったのが大綱まつりです。

そもそも大綱引きは市内各地で行われていましたが、昭和36年を最後に中断。歴史的ないわれもある由緒正しい祭りですから、これはふさわしいと取り組むことに

なりました。大綱まつり復活の1年前、昭和52年のことです。

私たち自身、昔の大綱まつりの事はおぼろげな記憶しかありません。大綱の作り方などを経験者に教えてもらいながら、手探りで祭りの準備を進めました。祭りの前日、深夜までかかってヘトヘトになって大綱を編んだことは忘れられません。手作りの祭りが、30年にわたって続いてきました。まさに感無量です。

土佐市の動き

元号	西暦	主なできごと
昭和44年	1969	土佐電報電話局局舎落成 市民会館建設 新居堤内土地改良事業完成 波介川改修専門委員会発足
昭和45年	1970	「文芸土佐」刊行開始 台風10号で宇佐町浸水の被害
昭和46年	1971	市民図書館建設
昭和47年	1972	土佐市商店街診断まとまる 宇佐漁協製氷工場改築 波介農協朝日農業賞受賞
昭和48年	1973	高岡高校戸波分校閉校 特別養護老人ホーム「後楽荘」発足 宇佐港口を西口にするための導流堤完成 宇佐大橋横浪黒潮ライン開通
昭和49年	1974	宇佐漁村センター落成 市給食センター完成し小中学校完全給食に 宇佐中、新居中統合して土佐南中学校落成 総合グラウンド用地を買収 国民宿舎「土佐」落成
昭和50年	1975	台風5号により市全域未曾有の被害 波介川改修激特事業指定
昭和51年	1976	教育相談所開設 第1回病院祭開催 台風17号により高岡町その他 2年続きの被害 京間堤防完成
昭和52年	1977	仁淀川河口大橋開通 土佐市教育研究所設置
昭和53年	1978	北海道江別市と友好都市提携 中央公民館落成 市民憲章制定 市制施行20周年記念式典開催 大綱まつり復活

国民宿舎「土佐」落成
(昭和49年)

北海道江別市と友好都市提携(昭和53年)



仁淀川河口大橋開通(昭和52年)

台風5号による豪雨で浸水
—北原(昭和50年)

昭和44年(1969)～昭和53年(1978)

台風による災害を教訓に



市制施行20周年記念式典開催(昭和53年)



宇佐大橋横浪黒潮ライン開通(昭和48年)

土佐市は発足以来、まちづくりや産業育成などで着実に歩を進めてきましたが、時には自然の猛威にさらされることもありました。なかでも、昭和40年代半ばから50年代初めにかけて、3回にわたって大型台風が襲来し、連続して甚大な被害をもたらしました。

昭和45年に襲った台風10号では特に宇佐の被害が大きく、高潮によって1400戸が浸水し、被害の推定総額は29億円に迫りました。昭和50年には台風5号が襲来し、市内一円にわたって浸水。その傷痕も癒えきらずに翌51年、またもや大型雨台風の17号が襲い、市内では総雨量940ミリを記録しました。これら3度の台風襲来を教訓にして、以降、土佐市の災害対策は精力的に進められていきます。

厳しい時代的一方で、宇佐大橋と横浪黒潮ラインの開通、仁淀川河口大橋の開通など、市民の悲願のひとつである道路環境の整備は着々と進行了。また北海道江別市との友好都市提携や、伝統ある大綱まつりの復活などの、明るい話題が市民を活気づけました。

Dawning of the Era of Growth

At certain times in the history of Tosa City, we have been ravaged by the destructive forces of nature.

In 1970, particularly large damage was inflicted upon the Usa region due to Typhoon 10, with 1400 houses flooded. In 1975 the center of Takaoka was flooded by Typhoon 5, and in 1976, the downpour from Typhoon 17 wreaked havoc, with 940 millimeters of rain recorded in the city center. The unforgettable lessons of these three typhoons resulted in major advances in Tosa City's disaster prevention efforts.

While there were difficult times on the one hand, there were also many items of good news over the years that invigorated the citizens of Tosa City. These include: the opening of Usa-Bridge and Yokonami Kuroshio skyline; the opening of Niyodo Rivermouth Bridge; the formation of a sister-city relationship with Ebetsu City in Hokkaido; and the rekindling of Tosa City's Otsuna festival.



市民図書館

胎動の時代

障害者福祉の充実に 奔走の日々でした。



土佐市役所勤務40年
教育長、助役などを歴任

松岡数躬さん[82歳]

マツオカ カズミ

満州で終戦を迎え、3年間のシベリア抑留の後、高岡に帰郷。昭和25年に高岡町役場に就職し、以来40年、公務員として平成3年まで勤務しました。

昭和51年からは民生部長に任命され、7年間にわたって民生担当の仕事に就きました。56年は国際障害者年ということもあり、障害者福祉に高い関心が集まりました。土佐市における障害者対策が大きく進展した時期です。市の担当責任者として積極

的に関わりました。

そのほか、不燃物処理やし尿処理などさまざまな問題の解決に奔走しました。公務員人生で、もっとも長く所管した部署ですが、年齢的にも非常に充実した日々だった思い出深い時期です。

昭和58年からは教育長、63年から助役を勤めました。それぞれに責任の重い役職でしたが、多くの人に助けられて勤めを全うすることができました。

土佐市の動き

元号	西暦	主なできごと
昭和54年	1979	第1回土佐市社会福祉大会開催 移動市役所開設 波介下西で縄文土器出土（倉岡遺跡） 市民病院にリハビリテーション施設落成
昭和55年	1980	波介川水門完成 戸波総合市民センター開設 土佐市民体育館落成 西部広域簡易水道事業起工 戸波・宇佐に図書館設置 し尿処理場落成
昭和56年	1981	戸波小学校、現在地に移転落成 西部広域簡易水道事業、一部給水開始
昭和58年	1983	都市計画道路伊野線全面開通 台風10号襲来、高岡で竜巻発生 西部広域簡易水道事業、市内全域給水開始
昭和59年	1984	江別小、宇佐小姉妹校盟約調印 団体営土地改良（加茂川地区）事業完了 社会福祉センター落成
昭和60年	1985	江別第三中、高岡中姉妹校盟約調印 土佐改良総合整備（白川2地区）工事完成 台風20号襲来、新居で竜巻発生
昭和61年	1986	江別市大麻、土佐市中央公民館姉妹館盟約調印 市民病院新手術棟落成
昭和62年	1987	高石コミュニティ消防センター落成
昭和63年	1988	市制施行30周年・江別市との友好都市提携10周年記念式典開催



移動市役所（昭和54年）

Era of growth

In the twenty years since the inception of Tosa City, Tosa City's infrastructure has been in a state of transformation. In 1980, a floodgate at Hage River was completed, and has had significant results in the prevention of water damage.

Facilities were also constructed to improve the quality of life for Tosa City citizens. Tosa City's Physical Recreation Center was completed in 1980, the long-awaited Social Welfare Center was completed in 1984, and helped to enhance the image of our community as an easy place to live.

Many advances were also made in agriculture. Greenhouse horticulture began to make great strides. The late 1970's and early 1980's saw the beginning of melon cultivation in Tosa City, and melon has begun to mature into Tosa City's special product. In the Hage River area Igusa (rush) production is also prominent, and represents half of the total production of Igusa in Kochi Prefecture.



波介川水門完成（昭和55年）



市制施行30周年記念式典
（昭和63年）



江別市大麻、土佐市中央公民館
姉妹館盟約調印（昭和61年）



竜巻被害の様子—新居（昭和60年）

昭和54年（1979）～昭和63年（1988）

整備が進む、住みやすいまち



土佐市民体育館落成
（昭和55年）

市制施行から20年を超え、土佐市の整備は一層進んでいきます。仁淀川増水時に逆流するなど、治水面で最も懸念されていた波介川流域では、着工以来2年半の年月を経て、昭和55年に念願の水門が完成。土佐市百年の大計のひとつ、水害防止で大きな成果がありました。

暮らしを豊かにする施設整備も進行。昭和55年には土佐市民体育館が落成し、市民が集う体育祭や各種競技大会の拠点となりました。昭和59年には待望の社会福祉センターが完成し、笑顔が広がる住みやすい地域づくりへと、さらに力強い一歩を踏み出しました。

農業に関しては、新居などで施設園芸が一層発展。昭和50年代からメロンの栽培が始まり、土佐市の特産品の一角を占めるまでに成長します。波介川流域でのイ草栽培も盛んに行われ、この時期、県内生産量のほぼ半分を占めていました。



倉岡遺跡の試掘（昭和54年）

成長の時代

ひとりでも多くの命を
救うことができる
資格です。



土佐市で最初に救急救命士の
資格を取得 土佐市消防本部勤務

岡林 均さん[49歳]

オカバヤシ ヒトシ

救急救命士は救急車に同乗し、搬送中の
急患の症状に応じ、肺に直接酸素を送る
気管内挿管や点滴などの応急手当を救急
車内でできる消防隊員で、平成3年にでき
た新しい資格です。
私は、6カ月の研修の後、国家試験を受
験して、平成7年に資格を取得しました。
学ぶ内容が非常に高度な上、プレッシャー
も大きく、研修期間は非常につらいもので
した。しかし、それまでの救急現場で、あと

一歩踏み込んだ処置ができていれば救え
る命もあったことを経験していましたから、
資格取得は私にとっても悲願でした。
現在では、土佐市消防本部内に10名の救
急救命士が誕生し活躍しています。今後、
高齢化が進み、南海地震発生の危険を考え
ると、消防救急の役割はより重くなると思
います。市民の大切な命を守ることができ
るよう、今後もさらなる努力を重ねていく
所存です。

土佐市の動き

元号	西暦	主なできごと
平成元年	1989	ブラジル国イタチーバ市と姉妹都市盟約調印・市長ら30人が ブラジル訪問 福祉都市宣言を決議 窓口業務にコンピュータ導入 ゆとり宣言を決議
平成2年	1990	第3次土佐市行政振興計画策定
平成3年	1991	新消防庁舎落成 波介コミュニティセンター落成 波介川一斉清掃開始
平成4年	1992	人権モデル地区に指定 四国横断自動車道(伊野～須崎間)中心杭打ち式
平成5年	1993	高知取水協定書調印 波介山展望公園完成
平成6年	1994	不燃物最終処分場完成
平成7年	1995	宇佐まちづくり計画(住民参加型ビジョン)策定 市初の救急救命士誕生
平成8年	1996	岩戸・出間沖農地ほ場整備開始 四国横断自動車道(伊野～須崎間)着工
平成9年	1997	高知海洋高校開校 高齢者総合福祉センター落成
平成10年	1998	北原クリーンセンター落成 塚地坂トンネル開通 蓮池コミュニティセンター落成 市制施行40周年・江別市との友好都市提携20周年記念式典開催 居徳遺跡群より木胎漆器と国内最古の木鋸が出土 集中豪雨(98豪雨)記録的な雨量により、市内各地で甚大な被害 第1回ふれあいフェスタ開催 宇佐大橋無料化 学校法人リハビリテーション学院開校



高齢者総合福祉センター落成
(平成9年)



不燃物最終処分場完成(平成6年)



塚地坂トンネル開通(平成10年)

昭和64年・平成元年(1989)～平成10年(1998)

活力みなぎるまちづくりへ



四国横断自動車道(伊野～須崎間)着工(平成4年)

新しい時代「平成」を迎え、土佐市はさらなる
グローバルな発展を図ります。平成元年、南米
ブラジルのイタチーバ市と姉妹都市提携。市民
の視線は国際交流へと集まりました。

観光・交流にも力を入れ、平成5年には雄大な
眺望の波介山展望公園を整備。また、平成7年には
宇佐漁協がホエール&イルカウォッチングを開
始し、県外からも多くの人々が訪れるようにな
りました。

この時期、暮らしを支える施設も着々と整備。
平成9年に誕生した高齢者総合福祉センターは、
高齢化社会に向けた心強い福祉施設として市民
に歓迎されました。翌10年には、ごみ問題の解決
を目指した北原クリーンセンターも落成。安心
で快適に暮らせるまちへ、また一歩前進しました。

第1回ふれあいフェスタ開催(平成10年)



Era of great activity

Upon entering the new era of Heisei (from 1989), Tosa City embarked upon an internationally-minded project. In 1989, Tosa City formed a sister-city relationship with Indaiatuba City in Brazil.

As part of an effort to invest in tourism and exchange, the Hage mountain park was created in 1993, overlooking the Pacific Ocean to the south, and the city center to the Northeast. Also in 1998, the Usa fishing cooperative began operation of whale and dolphin watching tours.

During this period, new facilities lending support to the lifestyles of our citizens were constructed one after another. In 1997, the Senior Citizens General Welfare Center was completed. The Kitahara Clean Center, whose aim is to help solve Tosa City's garbage problem, was completed in 1998, and the quality of living in our town was much improved.



北原クリーンセンター落成(平成10年)

躍進の時代

子どもたちはいくらでも
変わることのできる、
可能性を持っています。



子どもの居場所づくり事業に
コーディネーターとして参画

小松良さん[右]

コマツ ヨシ

植田貴子さん[左]

ウエタ タカコ

——平成16年に国の地域教育力再生プランに基づいた「子どもの居場所づくり」の支援事業が開始し、その立ち上げから指導員として関わりました。

——子どもたちがのびのびと安心して遊べる環境を、地域の方の協力のもとで整備しようというものです。今は放課後や休日、子どもたちが遊ぶことのできる場所が少なくなりました。子を持つ親として、事業の必要性に共感しました。

——「居場所」には幼児から中学生まで、さまざまな校区から子どもたちが集まります。子ども同士のトラブルもあり、けんかもあります。でもそうした経験を繰り返して、自分たちで解決方法を見つけ出す。子どもはどんどん変わっていく可能性があることを実感します。

——これからは市内の全校区で「居場所」事業を実施し、子どもたちの成長の場をつくっていくようがんばります。

土佐市の動き

元号	西暦	主なできごと
平成11年	1999	保健福祉センター落成
平成12年	2000	土佐市バイパス一部開通（野田～真幸町間） 戸波浦トンネル開通
平成13年	2001	高知中央西部焼却処理事務組合設立 仁淀川河口大橋無料化 集中豪雨により宇佐・新居地区で床上・床下浸水、農地冠水 土佐公園グラウンドを拡張、夜間照明設置 とさし女性センター開所 「国民宿舍土佐」を民間に売却
平成14年	2002	県道天崎トンネル工事中に鍾乳洞発見 USAくろしおセンター落成 岩戸・出間沖農地は場整備完了 住民基本台帳ネットワークシステム稼働 集中豪雨により高岡東瀬・蓮池神子納などで浸水被害 高知自動車道（伊野～須崎東間）開通 よさこい高知国体開催 （土佐市では少年男子ソフトボール、少年男子バスケットボール開催）
平成15年	2003	国土調査（地籍調査）を谷地から開始 土佐市ハートステーション開所 ブラジル高知県人会創立50周年記念・市長ら11人がブラジル訪問 江別市との友好都市提携25周年記念式典開催
平成16年	2004	土佐市バイパス野田～芝間全面開通・芝～淵岩間完全4車線化 波介川河口導流事業着工 防災行政無線システム放送開始 相次ぐ台風接近や集中豪雨による風水害で多数被害発生 宇佐・天満宮の火災により神踊りの道具一部焼失
平成17年	2005	天崎鍾乳洞トンネル開通 新居コミュニティセンター落成 台風14号により約2,800世帯、7,700人余りに対し避難勧告 市民病院改築工事着工
平成18年	2006	波介小学校新校舎落成 新居出張所、北原出張所廃止 戸波支所が移転し、戸波総合市民センターへ統合 北原クリーンセンター健康増進施設「いやし～土佐」落成 在宅介護支援センターを廃止し、土佐市地域包括支援センターを設置 市民病院新築第1期工事、手術棟落成
平成19年	2007	波介川河口導流事業が「床上浸水対策特別緊急事業」に 高岡中学校新体育館落成 第1回土佐市ドラゴンウォーク開催 宇佐しおかぜ公園完成
平成20年	2008	甲原松尾山のタチバナ群落国の天然記念物に指定 市民病院新築第2期工事、診療病棟落成 全国瞬時警報システム（J-ALERT）導入 高岡第一小学校屋内運動場・プール落成



「いしん前進」よさこい高知国体（平成14年）



第1回土佐市ドラゴンウォーク開催（平成19年）

平成11年（1999）～平成20年（2008）

次の半世紀へ、さらなる飛躍を



いやし～土佐落成（平成18年）



市民病院診療病棟落成（平成20年）



USAくろしおセンター落成（平成14年）



江別市との友好都市提携25周年記念式典（平成15年）

平成も二桁の時代に入ると、土佐市では交通アクセスの整備が急ピッチで進んでいきます。平成12年には市街地中心部を迂回するバイパスが一部開通し、慢性的な交通渋滞が緩和されました。平成14年9月には、6年前の着工以来、市民が待ち望んでいた高知自動車道・伊野～須崎東間がついに開通。高岡に土佐インターチェンジが開設されて、観光・物流面で飛躍的に利便性が向上し、土佐市は新時代を迎えます。高速道路開通を祝うように、同月、よさこい高知国体が開催されて、市内では2競技の熱戦が展開されました。

「環境の時代」といわれる21世紀を迎えるにあたって、土佐市では環境にやさしいまちづくりを推進。誕生以来50年を経た土佐市は、人と環境が調和する住みやすい未来を見据えて、次の世代へとわがまちをつないでいきます。

Age of Fulfillment

Construction of improved traffic access began to make strides at a fast pace. In 2000, the bypass around the center of the city was partially completed, and chronic traffic congestion was eased. In September of 2002, the Ino-Susaki East leg of the Kochi Highway began operation. The Tosa Interchange opened at this time, and brought dramatic improvements in sightseeing and distribution of goods. In the same month, the Japan National Games (Yosakoi Kochi Kokurui) were held in Kochi, and two events were held in Tosa City.

Tosa City has also been actively promoting environmentally-friendly town planning. We intend to connect our fifty-year old city to upcoming generations, by looking at a future where people and the environment are in balance.



高知自動車道（伊野～須崎東間）開通（平成14年）

充実の時代

土佐市のいま 人が主役、テーマは笑顔のまちづくり

太平洋の黒潮の恵みと仁淀川の清らかな流れ。

高知県の中心に位置する土佐市は
豊かな自然に恵まれた田園都市です。
わたしたちは日々、このまちに暮らし、
ここで働き、ここで安らできました。
わたしたちは、このまちが大好きです。

The bounty of the Black Current of the Pacific Ocean
and the pure flow of the Niyodo River.
Located in the center of Kochi Prefecture,
Tosa City is a rural city blessed with a rich natural environment.

From day to day,
We live in this town,
We work here, and we rest here.
We love this town.

わがまちゆかりの賢人、偉人たち。

COLUMN 1

人物
People

龍馬と親交、維新後は 自由民権運動に奔走 中島信行

〔なかしまのぶゆき〕1846〜1899（高岡郡塚地生まれ）



郷土出身の勤皇の志士、中島信行は土佐勤皇党が弾圧を受けたため脱藩し、坂本龍馬の海援隊に入隊。隊の船が紀州船と衝突、沈没した「いろは丸事件」の際、折衝役を務めて賠償金の獲得に成功しました。維新後、官界で活躍したのち、板垣退助らと自由党を結成し、副総理に。明治23年、初代衆議院議長に就任し、議政政治黎明期の功労者となりました。

宇佐の海から日本の夜明けへ 中濱万次郎

「ジョン万次郎」

〔なかはままんじろう〕1827〜1898（幡多郡中浜生まれ）



「日本初の国際人」ジョン万次郎は天保12年（1841）、14歳の時に宇佐から出漁し、嵐にあつて遭難。半年間にわたる苦難の無人島生活をおくったのち、アメリカの捕鯨船に救出されました。その後、アメリカで航海術や測量術を学び、捕鯨船に乗って世界の海を駆け巡ります。帰国後は咸臨丸に通訳として乗船するなど、日本の国際化に大きな貢献をしました。

まちの発展を促した 鎌田井筋を構築 野中兼山

〔のなかけんざん〕1615〜1663（幡多郡出岡生まれ）



山内「豊の妹、合姫の孫である野中兼山は、17歳で土佐藩奉行職に就任し、藩の財政を立て直すため精力的に活動しました。承応3年（1654）から、仁淀川の水を平野部にひく工事を開始。30年余りに及ぶ大規模事業により、土佐地域の実り豊かな田園地帯の基礎を作り上げました。いまも残るこの水路が、土佐市の田園と景観に潤いを与え続ける鎌田井筋です。

テキサス米作の礎を 築いたライス・キング 西原清東

〔さいはらせいとう〕1891〜1969（高岡郡出岡生まれ）



「テキサスのライス・キング」の異名をとったのが、暮末、郷土の家に生まれた西原清東です。自由民権運動の闘士、代言人（弁護士）、衆議院議員、同志社社長と輝かしい半生を歩んだのち、突如すべてをなげうって、アメリカに留学。42歳の時にアメリカ・テキサス州に農場を開き、米作で大きな成功を収めました。

Industry

Fostered by people and nature.

Utilizing the temperate climate and the natural bounty of the Pacific Ocean and Niyodo River, the people of Tosa City developed original industries long ago. These industries have developed into the major industries of Tosa City today, including: multifaceted modern agriculture, paper manufacturing, coastal fishing, and marine product processing.

Nature

Mountain, River, Ocean, Sky

These are the elements that make up classic Japanese scenery.

Tosa City, expanding out from the pristine flow of the Niyodo rivermouth.

With the Pacific Ocean to the south and the Irazu mountains to the north, Tosa City overflows with bountiful nature from sea, mountains, and river.

Culture

A tradition that is refined over the years, both by time and people.

Tosa City is home to a traditional culture that tells the story of the town's history. There are local songs and dances that have been passed from one person to another, and numerous cultural treasures that have been polished with the passing of time. These are precious cultural treasures that must be passed down to future generations.

Life style

A town with a healthy, vibrant lifestyle.

Tosa City is a vibrant stage for living. Residents support one another through community and volunteer activities, and communities and citizen groups are also formed. Also, in order to live healthily from day to day, many people are actively involved in health promotion and cultural activities.

工業

Manufacturing

仁淀川の清らかな流れを活かした製紙工業

仁淀川がもたらす、豊かで清浄な水。その上流域の山で豊富に生産されるコウゾ、ミツマタ。これらの恵みを利用して、古くから高岡を中心に和紙づくりが盛んに行われてきました。昭和30年頃には、土佐市の製紙業は、熟練の職人技を駆使した手漉きとともに、近代的設備による効率的な機械漉きが盛んに、代表的な紙の種類も、かつては障子紙が主でしたが、次第にティッシュペーパー、トイレットペーパー、京花紙などへと多様に変遷。近年、丈夫で肌触りの優しい不織布の生産も増えています。



1.機械漉き機
2.高岡町の製紙工場
3.機械漉きの和紙製品



農業

Agriculture

南国の日差しの下で収穫の喜び、
全国屈指の園芸王国



1.ハウスメロンの栽培
2.生姜の栽培
3.ユリの栽培
4.ピーマンの出荷風景

土佐市の基幹産業である農業。市内の平野部では温暖な気候を活かし、メロン、スイカ、ピーマン、キュウリ、シシトウなどの施設園芸が盛んで、「園芸王国・高知」における土佐市の地位を広くアピールしています。また、高石地区を中心にカサランカなどの、オリエンタル系ユリの栽培が盛んに行われ、北原地区で栽培されているソリダスターとともに日本有数の生産量を誇っています。中山間地域では、生産量全国1位の土佐文旦や小夏などの柑橘類と露地生姜の複合経営が主流。安定した農業経営の展開で、地域農業を支えています。



土佐文旦

産業

Industry

水産業

ほうじょう
豊饒の海が
もたらす海の幸

The marine products industry

命あふれる豊饒の海とともに歩んできた宇佐。この歴史ある漁師町は、藩政時代から「改良土佐節発祥の地」として知られています。さばいて、ゆでて、燻して、干す。長年培われてきた鯉節(改良土佐節)伝統の技術がしつかり活かされ、現在の産業の礎となっています。土佐節のまちならではの加工品のほか、一本釣りしたウルメの丸干し、宇佐湾周辺で採れるアサリ、新居の沿岸とれを加工したチリメンジャコなども土佐市自慢の特産品。近年は、漁礁設置や稚魚放流などにも熱心に取り組んでいます。



4



3



1.宇佐漁港
2.アサリ
3.香ばしい香りが漂う鯉節(改良土佐節)
4.ウルメの丸干し

黒潮と自然の恵みを活かして



仁淀川

[によどがわ]

清く豊かな、たゆまぬ流れ

全長124km。四万十川、吉野川に次ぐ
四国第3の河川、仁淀川の河口に近い下
流部に土佐市は広がっています。仁淀川は、
これ以上清らかであることが望めない
ほどの清流。大河の部類に入りながら、
その水質は全国の一級河川の中でも指
折りの良さを誇ります。澄みきつた水を
たづなりとたたえ、ゆつたり蛇行しながら
流れる様子を眺めていると、いつまでも
飽きることがありません。

京間の 大イチョウ

[きょうまのおおいちよう]

埋もれてなおも、威風堂々

蓮池の樟

[はすいけのくすのき]

神に違わされた
生命力みなぎる古木

西ノ宮八幡宮の本殿裏手のひっそ
りとした場所に、見る者を驚かせる巨
木が立っています。県の天然記念物に
指定されている蓮池の樟で、樹高27m、
幹回り8.5m。樹齢約800年といわれ
る古木ながら、樹には力がみなぎり、
勢いはいまだ衰えを知りません。天に
向かってきりつと幹を延ばし、四方に
枝を張り巡らす姿には、神々しさを感じ
ます。



イワガネ 自生地

[いわがねじせいち]

絶滅が危ぶまれる
希少種を、育む地

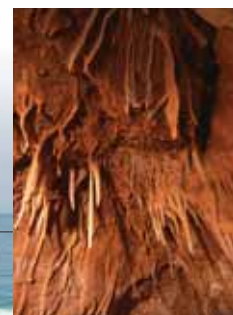
イワガネはイラクサ科に属する落葉
低木。高知県の絶滅危惧ⅠA類に分類され
る希少種です。九州で最初に確認され、
四国では昭和9年、土佐市出身の上村登
博士により、出間の谷あい（いづまの
やあい）で初めて発見
されました。貴重な自生地は県の天然記
念物に指定され、知る人ぞ知る聖域になっ
ています。

平成13年、県道土佐伊野線のトンネル
工事中に、鍾乳洞が発見されました。天
井一面から無数の鍾乳石が垂れ下がり、
洞内には神秘的な雰囲気漂っています。
専門家調査したところ、形成され
たのは約2億6000〜7000万年
前で、天然記念物級の規模であることが
わかりました。この調査結果をもとにし
て、鍾乳洞を保存するため、トンネルは
工法を変更して建設されました。ただ、
洞内のはほとんどが地下水に満たされて
いることもあり、通常、一般公開はされ
ていません。

天崎鍾乳洞

[あまさきしょうにゅうどう]

悠久のときがつくりあげた
自然の芸術



自然

Nature

太平洋 横浪半島

[たいへいよう よこなみはんとう]

クジラ遊ぶ大海原から、
鏡のように穏やかな内海まで

クジラが泳ぐ太平洋に面した土佐市。
個性豊かな海は、大きな魅力のひとつです。
雄大な砂浜が続くのは東南部の海岸線。
仁淀川河口付近では特に力強い波が立
ち、スケールの大きなサーフスポットに
なっています。一方、横浪半島南側では、
切り立った断崖に白波が砕け散る荒々
しい風景が続きます。うつて変わって、
リアス式の入り江が連なる浦ノ内湾へと
続く穏やかで優しい風景は、「横浪三里」
の名で知られています。これら趣の異なる
土佐市の海は、季節や時刻の違いによつて、
さらに様々な表情を見せてくれます。



甲原松尾山の タチバナ群落

[かんばらまつおやまのたちばなぐんらく]

平安時代の和歌にも詠まれた
数少ない野生のミカン



『橘は美さへ花さへその葉さへ』
枝に霜降りといや常葉の木』
（聖武天皇 巻六 1009）
古来から親しまれてきた日本原産の
柑橘類、タチバナ。自生が確認されてい
るものは少なく、環境省のレッドデー
ブックで絶滅危惧Ⅱ類に指定される希
少種です。土佐市甲原の松尾山の山腹で
は、この珍しいタチバナ200本あまり
の群落が地域住民の皆さんの手で守ら
れてきました。国内最大の規模と学術的
な価値が評価され、平成20年には国の天
然記念物に指定。5月には、薫り高い可
憐な花を咲かせます。

山、川、海、空が広がるニッポンの風景

宇佐花取太刀踊り

〔うさはなとりたちおどり〕

若一王子宮秋祭（10月第2月曜日・宇佐）
時を越えて受け継がれ、
磨かれた剣の舞

蓮池の太刀踊

〔はすいけのたちおどり〕

西ノ宮八幡宮秋祭（10月3日・蓮池）

戦国武士の勝利の歓喜

真剣で切った紙吹雪が舞い散るなか、
きらめく刀身を振り下ろす―太刀踊り
ならではの手に汗握る名場面です。土佐
市では2地域に伝わっており、ひとつは
蓮池の西ノ宮八幡宮で行われる蓮池の
太刀踊。約650年前の南北朝時代、蓮
池城主の大平山城守が戦いに大勝利し、八
幡宮に勝利を報告しようとして即興で奉納
したのが起源といわれています。その後、
徐々に姿を変えながら、現在見られる緊
迫感ある動きになりました。

宇佐の若一王子宮で行われているの
が、宇佐花取太刀踊り。600年以上前
に若一王子宮の奉納行事として始まっ
たとも、主家の再興を期した家臣たちが、
奉納踊りの名を借りて、密かに武芸を練っ
たものとも伝えられています。

居徳遺跡群

〔いとくせいせきぐんぐん〕

太古のロマンに想いをはせる



5

6

穴地蔵

〔あなじぞう〕

「穴」の病に快癒のご利益

正式名は「岩屋地蔵」。耳や鼻、口など、
体の「穴」にまつわる疾病や安産にご利
益があるといわれ、遠方からも多くの人が
が参拝に訪れます。大きな岩の洞窟の中
に安置された4体の地蔵。病快癒を祈願
する人々の思いを受け止めてきました。
春と秋の緑日には、願がかった人たちが
年齢の数だけ餅を投げる風習も残っ
ています。

5.居徳遺跡（発掘調査の様子）
6.居徳遺跡で発掘された人骨



8



7

土佐市には縄文時代から古墳時代の
遺跡が点在しています。なかでも重要な
のが、高知自動車道建設に伴って発掘さ
れた居徳遺跡群。縄文時代晩期の遺物を
中心に、木胎漆器や日本最古の木鋸など、
貴重な文化財が数多く出土されました。
特に、鋭利な道具による傷が見られる人
骨は、国内最古の集団同士の戦闘行為に
よる痕跡と鑑定。縄文時代にも戦争が行
われていた可能性を示す資料として、全
国的に注目を集めています。

市野々の神踊り

〔いちののこおどり〕

市野々天満宮秋祭

（旧暦9月15日に近い土曜日または日曜日・市野々）

太刀を団扇に代えて
華麗な舞を披露する



2



1

1.宇佐花取太刀踊り
2.蓮池の太刀踊
3.市野々の神踊り
4.市野々の神踊り

第35番札所清瀧寺
第36番札所青龍寺

〔だい35ばんざしよ きよたきじ〕

〔だい36ばんざしよ しょうりゅうじ〕

静かな山腹にたたずむ
信仰篤い四国霊場

木造薬師如来立像

〔ちくぞうやくしにょらいりゅうじょう〕

（平安時代の作・清瀧寺・国重文）

その姿に、人々の祈りを想う

木造愛染明王坐像

〔ちくぞうあいせんみょうおうざじょう〕

（鎌倉時代の作・青龍寺・国重文）

心打つ力強い怒りの表情



9

7.木造薬師如来立像
8.穴地蔵
9.木造愛染明王坐像
10.第35番札所清瀧寺
11.第36番札所青龍寺



11



10



3



4

戦国時代末期から、市野々の人々に綿々と
と伝承されてきた郷土芸能です。胸に締
太鼓を着け、伝承の化粧を施した4人の
子どもの周りを取り囲む、大きな団扇を
持った大人たち。唄にあわせて鉦と太鼓
がテンポ良く打ち鳴らされ、団扇を振り
かざして華麗に舞
い踊ります。その昔
戦いに疲れた武士
が戦禍に苦しんだ
庶民と一体となり、
太刀を団扇に代え
て新たな踊りを生
み出したと伝えら
れています。

市民が集う憩いの場



波介山展望公園

東は室戸岬、西は足摺岬、南は太平洋、北は石鎚山系を一望でき、雄大な景色が楽しめます。園内は展望所5カ所、公園2カ所、休憩所1カ所が遊歩道で結ばれています。



天崎水車公園

土佐藩奉行職・野中兼山によって創始された鎌田井筋にあり、シンボルとして水車を設置。資料館を併設し、鎌田井筋に関する写真資料などを展示しています。



宇佐しおかぜ公園

海に面し、芝生の広場が気持ちのいい公園で、ホエール&イルカウォッチングの拠点。5月には宇佐大鍋まつり、8月には宇佐港まつりの会場となり、多くの人で賑わいます。



蓮池公園

37アールの池は初夏、大輪のハスの花が見ごろを迎えます。池を一面に覆う緑の葉とピンクの花のコントラストが見事。多くの方が花見に訪れます。

土佐市の公共施設

■庁舎・市民センター
本庁舎
西庁舎
北庁舎
戸波総合市民センター
USAくろしおセンター

■文化施設
中央公民館
市民会館
市民会館
戸波公民館
高岡市民館
戸波市民館
新居コミュニティセンター

蓮池コミュニティセンター
波介コミュニティセンター
戸波児童センター
少年育成センター
教育研究所
市民図書館
市民図書館宇佐分館
市民図書館戸波分館

■スポーツ施設
市民体育館
土佐公園グラウンド
土佐公園テニスコート
初田運動広場

■医療・保健・福祉施設
市民病院
高齢者総合福祉センター
保健福祉センター
宇佐デイサービスセンター
戸波デイサービスセンター
シルバーハウスむくどり
高岡南部老人憩の家
いつみふれあいセンター

■公園施設
宇佐公園
宇佐市民公園
新居市民公園
新居緑地公園

市民公園
中町公園
鳴川公園
天崎水車公園
加茂川親水公園
土佐公園
城山公園
蓮池公園
波介山展望公園
戸波公園
大西前公園

■保育園・小学校・中学校
宇佐保育園
みのり保育園

高石保育園
わかば保育園
すみれ保育園
山の手保育園
愛聖保育園
蓮池保育園
北原保育園
こばと保育園
宇佐小学校
新居小学校
高石小学校
高岡第一小学校
高岡第二小学校
蓮池小学校

波介小学校
北原小学校
北原小学校谷地分校
戸波小学校
土佐南中学校
高岡中学校
戸波中学校

■その他
消防署
消防署宇佐分署
とさし女性センター
北原クリーンセンター
学校給食センター



総合型地域スポーツクラブ「総合クラブとさ」

毎日を健やかに過ごすために

元気のみなもとは健やかな体と心。スポーツやレクリエーションは、多くの市民の生活に欠かせないもののひとつです。市内各所にあるスポーツ施設では、健康維持と増進に楽しみながら取り組む人で賑わいます。参加できるスポーツ種目がバラエティーに富み、体力やレベルにあわせて運動できる環境が整備されていることも、スポーツ人口の伸びを後押し。年間を通じ、大小さまざまなスポーツイベントなどが、多数開催されます。



土佐市議会

まちの未来を真摯に見つめる市議会

市民から選挙で選ばれた議員で構成される土佐市議会。市の意思を決定する議決機関です。議会は年4回開かれる定例会のほか、必要に応じて臨時会が行われます。議会では予算、条例、まちづくりへの課題など提出された議案などを審議し、その意思を決定します。また、執行機関の監視機関としての役割も担っています。土佐市議会は、私たち市民の代表としてこれら使命を果たし、真摯に土佐市の未来を考えています。

にぎわいと活力のあるまちへ

土佐市は市民が主役。私たちの笑顔がまちの元気を生み出します。人と人が支えあう暮らしの中で、力強く成長した地域コミュニティや市民グループ。互いに助け合い、ふれあう日常生活から、文化活動やレクリエーション活動、さらに行事やイベントを通して、コミュニティの輪が広がっています。私たち市民が交流を深めることは、まちづくりの活力につながります。ふるさとにより良い明日を目指して、手を取り、集い、力を合わせてまちの未来をつくります。



ふれあいフェスタ

創造できるよろこびの毎日

私たちのまちでは趣味や創作活動などの文化活動が盛んで、市民生活の大きなうねりになっています。公民館やコミュニティセンターなどの文化施設では毎日、多くの団体がさまざまな文化活動に取り組んでいます。共通の趣味や活動を通じての仲間づくりや交流も活発で、実りの多いコミュニティを形成しています。日ごろの活動の成果は、土佐市民展や各発表会などで披露。文化や芸術を核にした市民参加の輪が広がっています。



市民学級

暮

Life style

らし

すこやかに、のびやかに、暮らせるまち





1.古いレンガづくり、江別ガラス工芸館
2.江別市「やきもの市」
3.土佐市の子どもの、江別市での交流体験



3

北海道◎江別市「えべつ」

北の大地と手を携えて30年
祭りを通じて、熱い交流

友好都市・姉妹都市 交流を通じて深まる絆

Friendship City / Sister City

土佐市が初めて友好都市盟約を結んだのは、昭和53年7月15日。北海道有蹄平野のほぼ中央に位置する、人口12万3千人の江別市が盟約先です。年平均気温は約6.8度。昭和52年にはマイナス27.7度という、土佐市民には信じられないような最低気温が記録されています。江別市は広い田園地帯を有しているほか、パルプ工業や鉄鋼業、窯業などの工業も盛ん。札幌市のすぐ東隣に位置することから、近年はベッドタウンとしても発展しています。

気候風土が全く異なることから、交流はかえって積極的に進められてきました。現在も土佐市江別会、土佐市都市提携委員会などによって、途切れることなく交流。祭りや物産展などでの行き来も多く、夏の江別市民まつりでは、土佐市を由来とする「土佐大綱まつり」が名物行事になっています。

また、昭和59年には江別小学校と宇佐小学校、60年には江別第三中学校と高岡中学校が姉妹校盟約を結ぶなど、次世代を担う子どもたちを軸に交流活動が行われています。両市の子どもたちは互いに訪問しあい、ホームステイなどを実施。それぞれの市の理解を深めるとともに、子どもらしいのびのびとした交流で親交を温めています。

北海道・江別市
高知県・土佐市

ブラジル
サンパウロ州◎イタチーバ市

土佐市出身の移住者が
成功をおさめた南米の町

20世紀はじめ、日本からブラジルに向けて、移民たちが大勢渡っていきました。なかには土佐市出身者も多数含まれており、大半は波介川近くで農業を営み、毎年のように水害に悩まされていた人々でした。南米の都市サンパウロの北西約90km（南緯23度1分、西経46度5分）に位置するイタチーバ市は、ブラジル移民としての土佐市出身者が成功をおさめた拠点ともいえるべき地です。この深い縁から、土佐市は平成元年8月5日、イタチーバ市と姉妹都市盟約の調印を行いました。



イタチーバ市と姉妹都市盟約調印

Friendship City / Sister City An outline of Ebetsu City and Indaiatuba City

In 1978 Tosa City formed a friendship city with Ebetsu City, located in the center of Hokkaido's Ishikari plain. The elementary and junior high schools of both cities have formed sister school alliances, and friendship activities have taken place with children at the axis. Taking pride in our relationship of thirty years, we look forward to continuing our exchange in the future. In 1989, we formed a sister-city relationship with Indaiatuba City in Brazil, a location where many people living in the Hage River area emigrated to at the beginning of the 20th Century.

Toward a bright future

笑顔の向こうの明るい未来へ

ともに創造する共生のまちー思いやりのある土佐市をめざしてー

わたしたちは未来を見つめています。
いまある笑顔が、もっと大きく輝くために。
大切にしたいのは、
住む人の1人ひとりのしあわせの実現。
のびのびと、自由に、元気よく、
そして安心して暮らしていけるまちづくりを目指します。

On the other side of a smiling face, toward a bright future

Creating a town that we build together – aiming for a Tosa City where people care about each other –

We are looking at the future.
So that the smiles of today can shine even brighter.
We place importance on
the realization of happiness for all of our residents.
Vibrant, free, and full of energy, we aim for
town planning that will assist us to live comfortably and easily.

施策概要

わがまち自慢の伝統工芸と特産品

COLUMN 2

伝統産業
Traditional Industry

熟練の技が光る 土佐和紙と竹細工

原料のあく抜きとさらし作業の際、水がたっぷり必要な和紙の手漉き。清流仁淀川のはとりに広がる土佐市域は、古くから土佐和紙の本場として知られてきました。きめ細かな仕上がりは人々を魅了してやみません。土佐市の誇るもうひとつの伝統工芸が、繊細で美しく、実用性にも優れた竹細工です。江戸時代から農業・漁業用品、生活用品として愛され、国産の竹を使用した盛り籠は日本一の生産量を誇ります。



竹細工の仕事



匠の手業が生み出す美しい紙、土佐和紙

土佐市が発祥の 美味な品々

土佐市ならではの特産品のなかでも、全国的に名高いのが鷹節です。宇佐は改良土佐節発祥の地といわれ、18世紀末には現在の製法が確立されていきました。いまは軟らかい生節の生産量が多く、高知らしい土産物としても喜ばれています。ほかにも先陣を切った特産品は多く、県外人が驚くウツボのたたきも土佐市が発祥の地。土佐文旦のрутツもわがまちで、昭和18年に初めて宮ノ内で植え付けが行われ、以降土佐文旦の栽培が盛んになりました。



土佐市生まれのみかんの王様土佐文旦



滋味あふれる郷土料理
ウツボのたたき



風味豊かな土佐市発祥の改良土佐節



[活力のあるまち]

地域資源と魅力の創出



1

みんながいきいきと働けるまち

まちに活力をみなぎらせるため、この土地ならではの産業を育成していきます。農業では施設園芸など、特産品のさらなる生産、販売強化を。漁業では時代の推移に合わせて、今までの漁業とともに海洋性レクリエーションへの取り組みも強化。伝統に根ざした地場産業については、消費拡大と後継者育成に力を入れるなど、地域経済の基盤の安定に努めていきます。

- 1.施設園芸農家
- 2.土佐和紙づくり
- 3.釣り体験
- 4.スイカの出荷風景

[地場産業] 培った伝統を 次の世代に継承

土佐和紙づくりなど地場産業については、イベント出店などで消費拡大を図るとともに、職人技の継承を。製紙業では不織布など時代のニーズに合った紙づくりを支援します。



2

[観光] 海洋資源を活かした まちづくり

ホエール&イルカウォッチングをはじめ、海洋レジャーの需要拡大に対応して、体験観光を積極的に進めます。海産物を活かした市場やイベントも行い、にぎわいのある海辺のまちにします。



3

[労働環境] 安心して働ける 場づくりを

育児休業や介護休業がとりやすく、高齢者が働きやすい環境づくりを支援。働く意欲ある女性や高齢者、障害者の雇用促進を図ります。



4

[調和のとれたまち]

安心を生み出す環境都市づくり



1



2

[自然との共生] 自然とともに生きる

優れた水辺環境に恵まれた土佐市では、人と自然が調和する環境、心なごむ景観づくりを推進していきます。



3

[水質保全] 命の水を守る

すべての生命のみなもととなる水をクリーンに保つため、環境に負荷をかけない方法で水を浄化し、水質保全に努めています。

自然との一体化を重視

山・川・海の自然に恵まれた土佐市。この豊かな環境を維持しながら、日々を快適に暮らせ、台風や地震などの災害にも強いまちづくりを推進。都市整備のヒントとなるのは、市民によってアジサイなどの花々が植栽された加茂川親水公園です。都市整備と環境づくりが一体化した、うるおいのある都市整備事業を進めます。加えて、素晴らしい自然環境を引き継ぐため、省エネルギーとリサイクルの推進、ごみの減量化と再資源化、命の水を守る水質保全などにも取り組みます。



4

[防災] 災害に対する安心と安全

防災訓練や防災・消防体制の強化などに積極的に取り組んでいきます。近い将来発生するであろう南海地震をはじめ、さまざまな自然災害に備え、避難場所の整備やハザードマップの作成などハード・ソフト両面での対策を実施。住民の皆様との協力の下、自主防災組織の育成や活動の支援も行います。

- 1.自然に囲まれた川辺
- 2.散歩できる海辺
- 3.EM菌による水質浄化
- 4.防災訓練

Tosa City's vision for the future

We will engage in town planning that aims to create a Tosa City that is both an energetic and comfortable place to live. We aim to be both strong in the face of natural disaster, and simultaneously an environmentally-friendly city, in which people and nature coexist. We also intend to place special emphasis on the growth of Tosa City's local industries, beginning with Tosa-washi production.

So that our residents may lead their lives with smiles on their faces, we intend to continue our efforts enhancing areas of their lives such as: lifelong learning, which makes use of historical resources such as Shikoku Reijo; the creation of an environment in which lifelong sports can be enjoyed (with "Sogo Club Tosa" at the center); and also greater fulfillment of the welfare and medical systems.

[安らぎのあるまち]

支え合い、助け合う地域



1

安心して、健やかに暮らせるまちへ

保健・医療・福祉の分野を充実させて、子どもから高齢者まで、誰もが安心してすごせるまちづくりを推進していきます。出産、育児については、保育・母子保健サービスのより一層の充実へ。保健・医療体制に関しては、関連機関との連携をとるとともに、健康相談や食生活改善事業、各種健康診断などに積極的に取り組みます。基本とする考え方は、障害を持つ人も持たない人も、同じ社会で一緒にいきいきと暮らす「ノーマライゼーション」。ともに支え合い、助け合いながら暮らす、あたたかいまちを目指します。

1. 保育園の元気な子どもたち
2. 乳幼児健診
3. 老人ホームにて
4. 最新鋭の医療検査機器（土佐市民病院）

【保健】健診で早期発見、早期治療へ

乳児から高齢者まで、巡回も含めた各種健診で体の気になるところをいち早く察知。自分の健康について考えるきっかけとして、毎年開催される「ふれあいフェスタ」で健康コーナーも実施しています。



2

【健康】笑顔で日々を過ごすために

笑顔で暮らせるまちづくりの実現のため、健康増進や疾病予防の環境を整えるとともに、福祉の充実を目指します。



3

【医療】安心と信頼の医療へ

土佐市民病院では最新医療機器を随時導入。さらに信頼される医療施設に向けて、より良い診療体制づくりに努めます。



4

[生きがいのあるまち]

文化・伝統が育む人づくり



1



2

1. どんどこ大会
2. 地に残る三島神社秋祭
3. レクリエーションメニューのひとつ「フラダンス」(体育館)
4. 市民展



4

生涯を豊かにいきいきと

心豊かに、生きがいを持って暮らせることは、まちづくりの大きな目標。そして、地域の発展の礎となる人材育成の観点からも、生涯学習は大きな役割を担っています。土佐市では、市民だれもが、いつでも、どこでも学ぶことができる生涯学習、生涯スポーツを大切にしたいまちづくりを推進します。特に、地域の財産である伝統や文化の保護、歴史の継承を、豊かな情操と郷土への誇りが育める人間形成の場と位置づけます。また、市民交流の充実を図り、市民が主役となる文化都市の創造を目指します。

【歴史】歴史と文化に触れ合うまち

四国霊場の清瀧寺と青龍寺をはじめ、市内に点在する歴史的資源を保存。生涯学習や教育に活かし、歴史遺産をしっかりと継承していきます。



3

【スポーツ】もっと元気に！総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブである「総合クラブとさ」を核に、市民の誰でも加入でき、気軽にスポーツが楽しめるレクリエーションメニューが充実した環境づくりを推進します。

【文化】世代に応じた多彩な文化活動

各世代に応じた多種多様な創作活動や文化活動を支援。活動拠点や発表の場の提供など、生きがいが創出できる文化環境を整備していきます。

わがまちならではの見どころ・体験



- 1.クジラに会いにこい!
ホエール&イルカウォッチング
2.絶景のドライブルート、横浪黒潮ラインの風景
3.大綱まつり
4.参拝するお遍路さん
四国霊場第35番札所「清瀧寺」
5.大空をふんわりお散歩、パラグライダー
6.1000年を超えて続く折り、四国遍路
四国霊場第36番札所「青龍寺」



7.8.廃寺となった谷地の法華寺に伝わる木造金剛力士立像
(県保護有形文化財)

多く、大綱まつりや太刀踊りなどの勇壮な姿に、見つめる人々の心も躍ります。

土佐市のもうひとつの見どころが、四国霊場の清瀧寺と青龍寺。厳かな雰囲気
の境内にたたずむと、日常の出来事を忘
れてしまいます。伝統に根ざした祭りも
多く、大綱まつりや太刀踊りなどの勇壮
な姿に、見つめる人々の心も躍ります。

美しい自然と
厳かな霊場を体験

土佐市の表情豊かな自然は、訪れる人々
を魅了してやみません。文字通りの絶景
を堪能できるのは、リアス式の横浪半島
を縫い、須崎市へと続く横浪黒潮ライン。
宇佐から出航するホエール&イルカウォッ
チングでは、豪快で感動的な体験が待っ
ています。体験観光はほかにも多く、天
皇洲での潮干狩り、仁淀川河口でのサー
フィン、竜の浜(ドラゴンビーチ)での海
水浴や五色の浜での浜遊びなど、バラエ
ティあふれる楽しみが盛りだくさんです。

仁淀川も人気スポットで、水の温かい
アウトドアシーズン、キャンプやカヌー、
アユ釣りなどを楽しむ人々が賑わいます。
石土の森から飛び立ち、仁淀川の河原に
降り立つパラグライダーも、風景に彩り
を添えるアウトドアスポーツです。

土佐市のもうひとつの見どころが、四国
霊場の清瀧寺と青龍寺。厳かな雰囲気
の境内にたたずむと、日常の出来事を忘
れてしまいます。伝統に根ざした祭りも
多く、大綱まつりや太刀踊りなどの勇壮
な姿に、見つめる人々の心も躍ります。

[幸せなまち]
市民が主役の市政実現開かれた、
共生のまちづくり

目指すのは、市民1人ひとりが行動する
まちづくり。住民参画の機会を増やすと
ともに、市民と行政をつなぐ情報化につい
ても積極的に推進。市民の顔が見えるよう
な「開かれたまち」づくりに取り組んでい
きます。市民1人ひとりが互いに思いやり
をもって暮らす「共生のまち」も目標の1つ。
その実現のため、市民総ボランティアを
目指して、ボランティア活動を積極的に支援
するとともに、市民が中心となった様々な
活動も推進していきます。



1



2

[交流]
市民が交流の中心に

市民が前面に出る交流活動を積極的に
推進していきます。友好・姉妹都市
の江別市、イタチバ市の市民とも交
流を行っていきます。



3

[ボランティア]
活動の主役は市民

市民が助け合いながら、充実した心
豊かな暮らしをおくれるよう、ボラン
ティア活動を一層推進していきます。

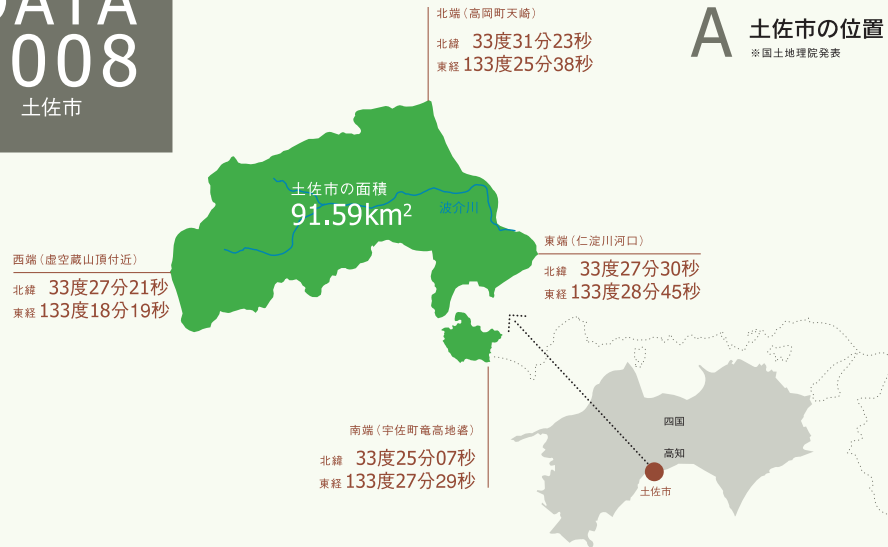


4

[広域行政]
広域ならではのスケールで
ごみ問題を解決

土佐市をはじめ、周辺市町村のごみ処
理を行う北原クリーンセンター。平成
18年には、焼却余熱を温水プールに利
用する健康増進施設「いやすし〜土佐」
も完成。

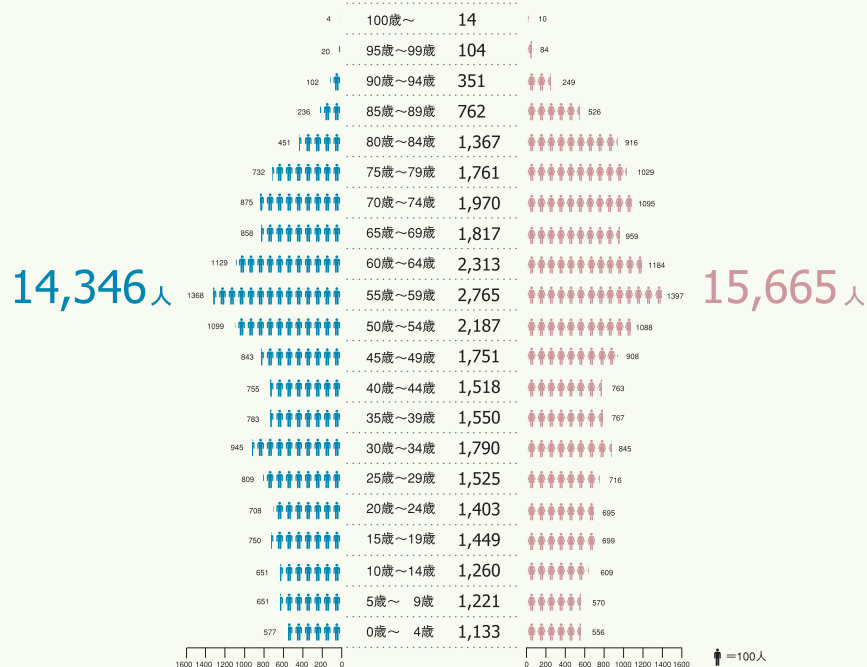
DATA 2008 土佐市



B 土佐市の人口

※平成17年国勢調査

30,011人



土佐市 歳事記

EVENT CALENDAR

日曜市初市	1	正月3ヵ日以降の最初の日曜日
親子たこあげ大会 谷地穴地藏春祭 青龍寺春季大祭	2	2月上旬 旧暦1月24日 旧暦1月28日
天皇洲の潮干狩り 土佐市ドラゴンウォーク	3	3月～9月 3月
清瀧寺春季大祭	4	旧暦3月21日
宇佐大鍋まつり	5	5月初旬 (GW期間中のいずれか1日)
岩戸の虫送り	6	旧暦5月20日
蓮池ハスマつり	7	7月第1または第2日曜日
宇佐港まつり 土佐市大綱まつり 土佐市パラグライダー大会	8	8月の第2土曜日 8月の第3土曜日 8月下旬
清瀧寺大師祭	9	旧暦7月20日
若一王子宮秋祭 (花取太刀踊り) 宇佐八幡宮秋祭 市野々天満宮秋祭 (市野々の神踊り) 南中町コスモスまつり 琴弾八幡宮秋祭 出間沖の花・花フェスタ	10	10月第2曜 10月第2土・日曜日 旧暦9月15日に近い土曜日または日曜日 10月下旬 10月下旬 10月下旬
ふれあいフェスタ 西ノ宮八幡宮秋祭 (蓮池の太刀踊り) 三島神社秋祭 松尾八幡宮秋祭 谷地穴地藏秋祭	11	11月3日 11月3日 11月3日 11月23日 旧暦10月24日
日曜市歳の市	12	12月30日

H 土佐市の文化財

●国重要文化財

名称	区分	所在地	所有者	指定年月日
木造愛染明王坐像	彫刻	土佐市宇佐町竜	青龍寺	明治44年4月17日
木造薬師如来立像	彫刻	土佐市高岡町清滝	清瀧寺	明治44年8月9日
梵鐘	工芸品	土佐市宇佐町仲町	正念寺	昭和31年6月28日

●国天然記念物

名称	区分	所在地	指定年月日
甲原松尾山のタチバナ群落	国天然記念物	土佐市甲原萩原	平成20年3月28日

●県指定文化財

名称	区分	所在地	指定年月日
高岳親王塔	県史跡	土佐市高岡町清滝	昭和28年1月29日
木造金剛力士立像	県保護有形文化財	土佐市谷地	昭和30年2月15日
銅造鏡像・懸仏	県保護有形文化財	土佐市高岡町清滝	昭和32年1月18日
木造阿弥陀如来坐像	県保護有形文化財	土佐市高岡町林口	昭和38年7月5日
琴平神社本殿	県建造物	土佐市高岡町清滝	平成8年4月30日
蓮池の太刀踊	県保護無形民俗文化財	土佐市蓮池	昭和40年6月18日
イワガネ自生地	県天然記念物	土佐市出間梅木谷	昭和23年10月26日
蓮池の樟	県天然記念物	土佐市蓮池	昭和32年1月18日

●市指定文化財

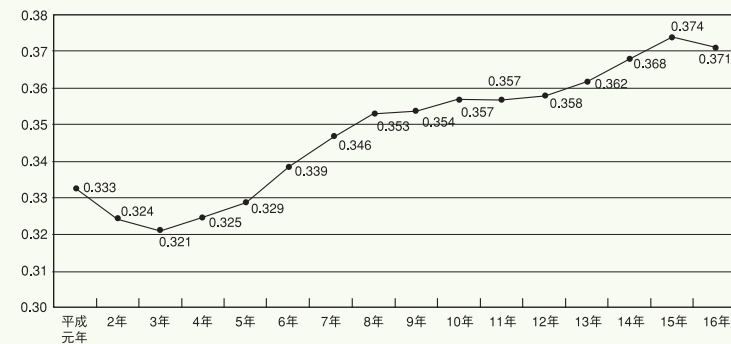
名称	区分	所在地	指定年月日
蓮池城址	市史跡	土佐市蓮池	昭和42年12月4日
真覚寺の日記	市有形文化財	土佐市宇佐町橋田	昭和49年9月5日
市野々の神踊り	市無形文化財	土佐市市野々	昭和42年12月4日
宇佐花取太刀踊り	市無形文化財	土佐市宇佐町	昭和49年9月5日
ハナガガシ	市天然記念物	土佐市甲原船戸	昭和42年12月4日
京間の大イチョウ	市天然記念物	土佐市高岡町京間	昭和43年4月4日
オガタモノキ	市天然記念物	土佐市高岡町	昭和47年6月1日

土佐市文化財収録集より抜粋

C 産業別就業人口の推移

業種 年度	総数	第一次産業			第二次産業			第三次産業						
		農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	卸売・小売	金融・保険業	不動産業	運輸・通信業	電気・ガス・水道	サービス業	公務
昭和40年	16,126	6,738	24	1,605	103	861	2,017	1,960	181	---	701	38	1,567	331
45年	16,567	6,225	16	1,224	48	868	2,488	2,173	205	21	757	37	1,989	516
50年	15,801	4,822	17	999	68	1,084	2,348	2,514	250	30	790	33	2,273	573
55年	16,289	4,646	13	1,039	50	1,246	2,105	2,823	294	49	740	51	2,677	556
60年	16,229	4,312	13	908	31	1,058	2,360	3,062	322	28	715	51	2,811	558
平成2年	16,276	3,969	18	757	33	1,155	2,396	3,153	324	51	740	49	3,142	489
7年	15,911	3,671	6	601	24	1,396	2,169	3,196	297	48	744	57	3,257	445
12年	15,634	3,157	13	423	10	1,616	2,002	3,288	280	51	676	61	3,644	413
17年	14,349	2,881	6	312	7	1,198	1,674	2,702	251	60	649	35	1,565	363

D 財政力指数の推移



財政力指数

地方自治体の財政力を示す指数。基準財政収入額（標準的な状態で見込まれる税収入から算出した額）を基準財政需要額（標準的な状態で必要とされる財政需要から算出した額）で除した数値の過去3年の平均値。本指数が高いほど財政力が高いと判断されます。

E ごみ処理量の推移

1.ごみ収集運搬業務 (単位: t)							
年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
収集量 (単位: t)	7,824	6,663	7,189	7,419	7,462	7,419	7,313
1) 可燃	6,392	5,118	5,343	5,473	5,512	5,468	5,269
2) 不燃・資源	1,432	1,545	1,846	1,946	1,950	2,016	2,044
2.処 理 量 (単位: t)							
1) クリーンセンター持込量							
個人持込量 [可燃]	-	-	-	296	309	260	322
個人持込量 [不燃]	-	-	-	510	573	914	966
事業者持込量	1,301	1,727	1,957	2,251	2,351	2,501	2,556
2) 埋立量 (単位: t)							
	1,555	1,260	1,260	1,309	1,309	1,309	1,392
3) 資源化量 (単位: t)							
かん	179	159	159	154	130	132	114
びん	268	274	264	295	272	251	217
金属	305	223	240	207	210	238	255
紙	490	893	1,089	1,196	1,130	1,248	1,273
ペットボトル	14	36	43	54	53	72	71
プラスチック製容器	-	-	13	16	39	44	58

F 生活保護の状況と推移

年度別	被保護		保護率 (‰/oo)
	世帯数	人員	
昭和55年	461	744	23.7
昭和60年	576	998	30.8
平成元年	483	807	25.1
平成5年	351	503	16.1
平成10年	238	327	10.7
平成15年	279	395	13.1

G 園児・児童・生徒数推移

年度	保育所	幼稚園	小学生	中学生
平成12年	876	161	1558	795
平成13年	854	153	1506	777
平成14年	924	136	1481	746
平成15年	972	121	1481	677
平成16年	998	106	1472	616
平成17年	979	104	1486	594

土佐市統計書より抜粋



市制50周年記念 市勢要覧 2008

発行日 平成20年8月
発行 高知県土佐市
企画編集 土佐市総務課

All Rights Reserved Copyright(C)Tosa City



発刊に寄せて

“自立と共生のまち”土佐市は、平成21年(2009年)1月1日に市制施行50周年を迎えます。

土佐市は、南に広がる太平洋、北にそびえる四国山脈、市域を流れる清流「仁淀川」など、青い空、豊かな自然、川の流れ、はじめて訪れたのにどこか懐かしい、360度自然に囲まれた太陽が染みこんだ市です。

この自然の恩恵の下、温暖な気候を利用し、「土佐文旦」「小夏」などの果物類、「スイカ」「メロン」「ピーマン」「キュウリ」「ショウガ」「シシトウ」などの野菜類、日本有数の生産量を誇る「カサブランカ」「ソリダスター」などの花卉類と多岐にわたる品目を生産しており、園芸王国・土佐市を広くアピールし続けております。

また、土佐といえば鰯を連想される方もおられますが、当市宇佐町が改良土佐節発祥の地とされており、「かつおの生節」は高知県内有数の生産量を誇っております。

古来、この地域では、「水」を巡り、様々な取り組みが行われてきました。その昔、土佐藩の奉行職、野中兼山によって、清流「仁淀川」に堰を築いて水を鎌田井筋に導き、仁淀川・波介川流域の荒地地は豊かな田畑へと姿を変えて行きました。

そして、仁淀川の水脈とその上流域の山で生産される檜や三桠を原料とした、伝統的工芸品である土佐和紙の産地としても全国に知られております。

時として、昭和50年の台風5号などの集中豪雨による水害などにも見舞われましたが、「水」と共に生きてきたものの宿命と感じております。

土佐市では、先人の聡慧で剛毅な気風を大切にし、生命の源に思いを馳せるように、誰もが心に描くふるさとであるよう、今の風情をこれからも大切にしたいと考えております。そして各産業の水となり、さらなる活力となるよう、市民の皆さんと手を携えてまちづくりをこれからも推進してまいります。

土佐市長 板原啓文

About this publication

Our beloved Tosa City will be welcoming its fiftieth birthday on January 1st, 2009.

With the Pacific Ocean to the south, the Shikoku Mountains to the north, and the Niyodo River flowing across its borders, Tosa City is surrounded by 360 degrees of mother nature, and continues to be a city of blue skies and sunshine that bestows upon the first-time visitor an uncanny sense of nostalgia.

Thanks to the blessings of nature, many fruits and vegetables are being produced here, including buntan, konatsu, watermelon, melon, green pepper, cucumber, and ginger. Our appeal as a kind of "horticultural kingdom" is continuing to broaden.

Also, while many people associate bonito fish with Kochi Prefecture, few know that an improved form of bonito flakes were first produced in Tosa City, and that we also boast some of the highest volumes of bonito flake production in Kochi Prefecture.

From ancient times water was abundant in this area, and over the years many projects have been undertaken to utilize this resource. Many years ago, due to the efforts of Nonaka Kenzan (1615-1663) of the Tosa Clan, a dam was built in Niyodo River, and the barren regions of Niyodo and Hage River were transformed into rich fertile lands.

In addition, we are nationally-known for our traditional industry of "Tosa-washi," produced from the bark of kozo (mulberry) and mitsumata trees grown in the mountains of the upper reaches of the Niyodo River valley.

In 1975, heavy rains from Typhoon 5, resulted in water damage to our city, but I personally feel that this is part of our destiny in being interconnected with "water."

In Tosa City, we place the abilities and strong-mindedness of our ancestors in high regard, and strive to be thought of as the hometown that people would choose to paint in their hearts. With this end in mind, we will continue our town planning efforts in the future, hand-in-hand with the citizens of Tosa City.

Itahara Yoshifumi, Mayor of Tosa City



土佐市庁舎